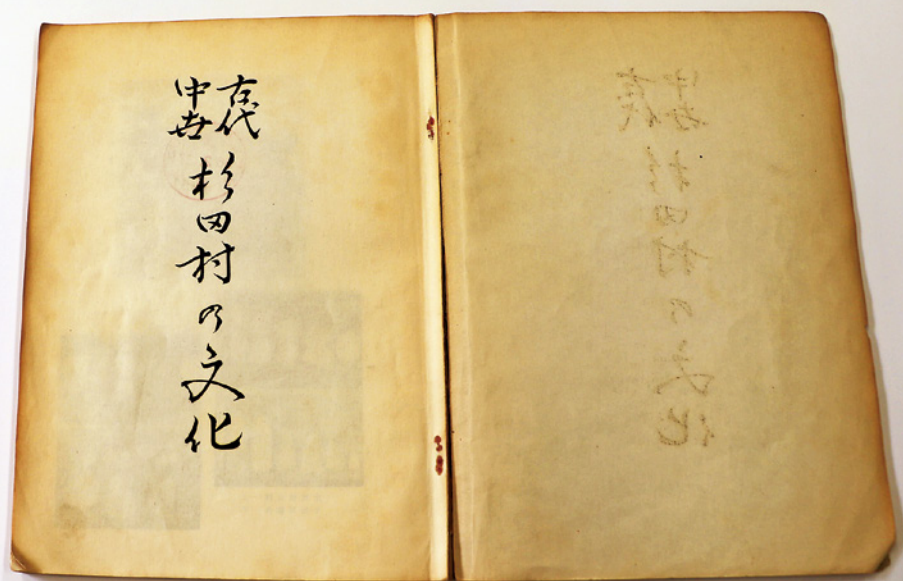


先人の暮らしが
あしきとある

あしきとある

だが、もの



古代中世杉田村の文化(二本松市歴史資料館蔵)

先人たちが残してくれた一冊の古びた冊子。

その冊子の名は、「古代中世杉田村の文化」(桑原兵次編)。

ページをめくってみると初めて知ることばかり。

この地に住んで数十年。今まで、全く知らなかったことばかりである。

私たちはなぜ、この冊子に出会ったのか。

その意味を問うてみる。

桑原氏からの「杉田の歴史や文化を伝えてほしい」という強いメッセージを感じる。

私たちは、先人たちが伝えてくれた「たからもの」に出会い、語り継いでいく。

【杉田地区からみる歴史年表】

時代(年代)	縄文	弥生	古墳(4世紀)	6世紀頃	710年	(8世紀)	794年	807年	906年	1151年	1189年	1345年	(14~16世紀)	1585年
杉田地区の動き	上平内、長者宮、舟形石、箕輪などで生活が営まれる	館野(久保遺跡)などで生活が営まれる	傾城壇古墳が造られる	落合や塚の越に古墳が造られる	杉田川流域で大規模な耕地が開かれる	郡山台に寺院、三重塔が建立される	条里制地割が行われる(杉田小学校北東)	坂上田村麻呂が八幡神社を創建※	郡山台が郡衙となる	安達郡が安積郡から独立	安達保(のちの安達荘)が成立	安達盛長が安達保の総地頭職に任ぜられる	畠山国氏が奥州管領に補任され、田地ケ岡(塩沢)に居を構える	粟ノ須の変
二本松の動き	原瀬地区などで生活が営まれる													
日本の動き		大陸から米作りの技術が伝わる			陸奥国が成立	平城京に遷都	平安京に遷都							羽柴秀吉が関白に就任

条里制…古代から中世後期にかけて行われた土地区画(管理)制度
郡 衙…古代律令制度の下で、郡の官人(郡司)が政務を執った役所
※神社由緒書による。

「杉田歴史愛好会」の発足

平成30年、6人の有志が集まり、杉田歴史愛好会が発足しました。モットーは、「できる人が、できるときに、できることをする。」

家族や仕事を優先し、時間的に余裕がある時に、会に参加するようになっていきます。

「愛好会」としている背景には、「自分のふるさとを愛し、自分のふるさとの歴史や文化を大切にしたい」という想いが込められています。

愛好会では、地域の歴史に興味のある男女15人が活動。冊子「古代中世杉田村の文化」を「ピー」して地域の歴史を学習しているほか、杉田地区の歴史ある場所に立看板を設置したり、草刈りなどの遺跡周辺整備をしたりしています。

また、小学校で行っている「杉田の歴史」の授業は、1000年前の先人が暮らした場所を直接見学したり、その生活に思いを馳せ、そして考えたりする機会を提供し、地域子どもたちの心を育てることを願って活動しています。



三重塔跡(平成30年度に設置した看板)



落合古墳(令和元年度に設置した看板)



杉田条里制跡(令和2年度に設置した看板)



杉田館跡(令和3年度看板設置予定)

「市民との協働による地域づくり支援補助」

「地域づくり」や「まちづくり」等の地域の社会的な課題に、地域住民や地域の自治組織が主体的に参画して取り組む事業に対する市の補助事業。令和3年度はハード事業・ソフト事業のそれぞれで募集。杉田歴史愛好会もこの事業を活用。



杉田歴史愛好会
たかしま げん
会長 高島 現 さん

元小学校校長
元杉田地区区長会長
自宅の倉庫を片付けていた時に、「古代中世杉田村の文化」に出会い、地元である杉田地区の歴史に興味を持つ。

私は、区長仲間で郷土の歴史に詳しい渡辺武郎さんに相談してみたところ、「市の歴史資料館に行くと原本をコピーしてもらえ」ことを教えていただきました。さっそく歴史資料館に出向いてコピーを受け取り、私の杉田歴史学習が始まりました。

平成25年、自宅の倉庫を片付けていたところ、偶然、冊子「古代中世杉田村の文化」を発見しました。この冊子は、昭和34年に発行されていて、当時、私は小学5年生でした。

当時は存在を知らずにいたこの冊子を読んでみようとしたものの、難解な部分も多く、また、一部が破損していてなかなか進みませんでした。

地区の区長をしていた

渡辺さんには、杉田地区の遺跡を案内していただくなど大変お世話になりました。

そのうちに、小学校から「杉田の歴史」の講師を依頼され、子どもたちに授業をするためにも、さらに深く学ぶようになりました。

また、奈良時代、杉田地区には“三重塔”が存在し、さらに昭和50年代に発掘調査も行われていたことを学び、仲間の佐竹秀夫さんとともに、その三重塔があったであろう場所に行ってみました。しかし、その場所は、まさに竹ヤブ。2人で竹切り作業に没頭して竹を切り進め、ついに三重塔があった場所を発見したときの感激は望外なものでした。

一方で、一度は発掘調査が行われたものの、いつの間にか正確な場所も分からなくなっていた、これらの歴史的な場所を、未来に語り継ぎ、子どもたちの学ぶ場として保存することができないかと思案をしていました。そして、「活用できる市の事業がある」という情報提供があり、多くの人たちの協力を得て、「杉田歴史愛好会」を設立することになりました。

地元にある大切な「たからもの」からふるさとを学ぶ

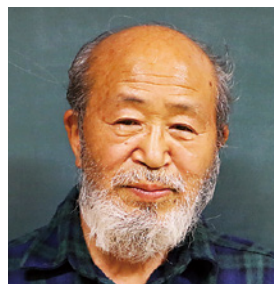


さたけ ひでお
佐竹 秀夫さん

会長の高島さんとは、区の役員として一緒に時間を過ごしました。

愛好会が発足する前、高島さんと三重塔跡の場所を探していました。3度目の挑戦でやっと確認ができたその場所は、竹ヤブに覆われていました。

歴史ある場所を整備しようと、高島さんは慣れない作業に手傷を負いながらも一生懸命草刈りや竹切り作業をしていて、私も一緒に汗を流させてもらいました。こうやって地域の人と顔を合わせる機会があるのも良いことだと思います。子どもたちの教育ができるのも地域の力。子どもたちに、地域への興味を持ってもらいたいと思っています。



わたなべ ふみお
渡辺 文雄さん

杉田川と原瀬川沿いの丘陵帯には、縄文・弥生・古墳から飛鳥・奈良～鎌倉・室町・戦国時代へと、数多くの遺跡が連綿と続いています。下流域の郡山台などには、極めて稀な縄文土器の出土・安達郡衙跡等があり、原瀬川

下流域の館野からは、市内5遺跡の内4遺跡から弥生土器が出土。室町初期の二の丸・三の丸を備えた高小屋館(山城)もあり、多彩な歴史が繰り広げられてきました。私の好むところは、戦国・戊辰の時代であり、ごく最近知ったものですが、その魅力にも取りつかれています。末永くこの杉田の歴史が保存整備されるよう、皆様のご参加をお待ちしています。



ほし おとひこ
星 乙彦さん

以前、二本松を含む白河以北は、古墳時代、エゾ地だとも思っていたが、古墳時代の「傾城壇古墳」や奈良時代の「三重塔」が存在し、ヤマトとつながりがあったことを知りました。

律令時代の歴史あるものが、地元杉田にあることを嬉しく思いました。教科書に載っていることが、遠くの地域の事ではなく、地元杉田とつながっていることを知って、今は、地元の歴史がおもしろくて仕方がありません。

今後は、学生や若い人たちと一緒に活動をしてみたいと思っています。そして、地元の歴史を知ること、地元で誇りを持ってもらいたいと思っています。



こばやし ひでと
小林 淑人さん

立て看板などのMAPをメインで作成していて、今年は、リーフレット「杉田の歴史散歩マップ」も作成しています。

MAPのベースができたら、みんなで相談しながら、地名や遺跡名を置いていき、さらに、見や

すいようにイラストを入れています。

MAP作りを通して、杉田の地名や歴史を知ることができました。私自身も知らなかっただけに、MAPを通して、地元の素晴らしい歴史を、皆さんに知ってもらいたいと思います。

今後は、縄文とか弥生とか時代ごとのMAPも考えていけたら良いなと思っています。



さとう そうさく
佐藤 惣作さん

「杉田小学校は良い所ですね。学校から『山』や『川』が見えて、さらに『電車』が見える。よそにはないですよ。」元から住んでいる者には当たり前のことが、よそから来た方には、素晴らしく感じられる。

他にも誇れるところがあるんじゃないかと思っていた頃、小学校で、高島さんが杉田の遺跡や歴史の授業をされている事を知りました。高島さんに「市民との協働による地域づくり支援事業」を紹介し、一緒に活動をしています。

これからも杉田地区の歴史の良さを再発見し、郷土愛がさらに強くなるような活動を、みんなでしていきたいと思っています。

定期的に関催されている学習会

雑談的な雰囲気の中、和気あいあいと行われています。





地元の あしもと たからもの

(“三重塔跡”にて)

杉田小学校6年生の授業「杉田の歴史」

平成29年から行われている特別授業。教室での勉強のほか、学区内の遺跡や歴史的な場所を訪れ、インターネットでは味わうことのできない杉田地区の先人たちの想いを五感で感じ、当時の暮らしに思いを馳せます。



1～3_ 杉田小6年生が学ぶフィールドワーク
(1_杉田館跡 2_郡山台遺跡 3_三重塔跡)
4・5_ フィールドワークを終えて「杉田の歴史」を学ぶ



杉田小6年
みどりかわ ゆう
緑川 優さん

「杉田の歴史」を勉強する前は、古墳は遠くの方にあるものだと思っていましたが、杉田地区にもあることを知って驚きました。地域の地名にも意味があることも学びました。みんなで歩いて遺跡に行った時には、友達が気づいたことが自分も一緒に気づけることが楽しかったです。

今後は、日本のいろいろなところの地名を調べて、その意味や杉田地区との関わりを調べてみたいと思います。



杉田小6年担任
えんどう まさのり
遠藤 雅憲先生

地域のことを地域の方から、しかも、直接その場所で学ばせてもらい、子どもたちは想像力を膨らませることができます。

地域のことを伝えてくれる方々のおかげで、教科書には載っていない「杉田の歴史」を学ぶことができ、子どもたちが地域に誇りを持ってくれています。歴史愛好会の皆さんには、本当に感謝しています。



こくぶん はるお
國分 春雄さん

小学校でPTA会長をしていた時、学校の評議員会で歴史の話になり、杉田地区は素晴らしい歴史のあるところだとい

うことを改めて知りました。

私は、年に数回の草刈り作業がメインで活動しています。仕事をしながらなので、出席できる回数は少ないですが、地域や子どもたちのためにも、協力できる部分は頑張ってやっていきたいと思っています。

愛好会では最年少の私ですが、自分たちが住んでいる杉田地区の素晴らしい歴史を若い人たちにも後継していきたいと思います。

今月号で取り上げた歴史スポットはわずかですが、杉田歴史愛好会では、今年度、「杉田の歴史散歩マップ20選」を作成しています。

